

メッセージ

「被災 66 周年 3・1 ビキニデー全国集会」が開催されるにあたり、焼津市民を代表してメッセージをお送りいたします。

太平洋マーシャル諸島にあるビキニ環礁での米国の水爆実験により、マーシャル島民や近海で操業していた多くの船や船員が被災してから、本年で 66 年が経過しました。

この間、本日お集まりの皆様をはじめとする世界各国の多くの人たちによる熱心な核兵器廃絶運動が行われています。

「核兵器のない世界」の実現は、私たちの共通の願いではありますが、世界には依然として多くの核兵器が存在しており、私たちの願いは、未だ遠い彼方にあると感じております。

焼津市では、毎年 6 月 30 日に核兵器廃絶と恒久平和の実現を訴える「市民集会」をはじめとした平和推進事業を通じて、核兵器の恐ろしさを、時代を超えて後世に語り継ぎ、「核兵器のない世界」を希求するとともに、焼津市民が平和を愛する心を持ち続けるよう、取り組んでおります。

また、本市が加盟しています平和首長会議、非核宣言自治体協議会の一員として、共に平和運動を展開し、世界平和の実現のため、引き続き取り組んでまいります。

結びに、皆様方の運動の力が、「核兵器のない世界」の実現につながりますことを念願いたしますとともに、お集まりの皆様の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げます。

令和 2 年 3 月 1 日

焼津市長 中野 弘道